

【 注射 】

821 上部消化管出血に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）  
【注射薬】の算定について

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

上部消化管出血に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）【注射薬】の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

プロトンポンプ・インヒビター（P P I）【注射薬】の添付文書の主な効能・効果は、「経口投与不可能な出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍及び急性胃粘膜病変」である。

また、当該医薬品は薬理作用として、胃内pHを上昇させることにより血液凝固能および血小板凝集能を改善し、出血抑制作用を示すとされている。

以上のことから、上部消化管出血に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）【注射薬】の算定は、原則として認められると判断した。